

土づくり 夏号



大学生、そしてパラアスリートとして

宮脇 太陽（みやわきたいよう）さん 21歳

岡山県備前市在住 病名 デュシェンヌ型筋ジストロフィー

宮脇太陽さんは現在、大学で勉学に励みながら、2026年に開催される電動車椅子サッカーの世界大会、アルゼンチン・ワールドカップ（W杯）の日本代表を目指して奮闘しています。物静かなたたくまいの中に秘める情熱と真摯さが印象的な21歳の青年です。

電動車椅子サッカーに打ち込んで

宮脇さん「僕が電動車椅子サッカー（以下、サッカー）を始めたのは中学1年（13歳）の時です。体験会に参加して、面白そうだなと思ってチームに入りました。そこから競技レベルが上がるにつれて何度かチームを移籍して、今は兵庫県のチームに所属しています。」

宮脇さんが所属するのは「レッドイーグルス兵庫」。日本のトップを決める大会「パワーチェアフットボールチャンピオンシップジャパン」で、2023年と、24年の2連覇を含む4度の優勝を成し遂げた日本車椅子サッカー界屈指の強豪チームです。同チームの元監督は2023年のオーストラリアW杯・日本代表監督でもあり、チーム内にはこの大会に出場した日本代表選手が2名所属しています。控えめな宮脇さんがそれを教えてくれたのは、インタビュ後日のことでした。

宮脇さん「W杯の代表選考会には僕も参加したことがあって、今は2年後に開かれるアルゼンチンW杯の日本代表を目指しています。」



電動車椅子サッカーって？

電動車椅子サッカーは、手や顎などでコントローラーを操作し

て電動車椅子を前進・後退・回転させながら、足前に設置したフットガードでパスやドリブル、回転シュートなど、多彩な技を繰り広げてプレーします。4人制で男女混合競技でもあり、年齢層も幅広いのが特徴です。

Q&A

Q：練習はいつされているんですか？

A：週末です。土日しかありません。やっぱりサッカーをしていく上で、家族や介護士さんの協力が必ず必要で、いろいろな方々がサッカーをするために支えてくださっています。移動や食事、練習で一日がかりですし、僕の場合は両親に協力してもらってサッカーを続けています。父は審判員の資格を取って、練習試合のサポートもしてくれています。

Q：コントローラーの操作は？

A：僕は右利きなので、右手で操作して電動車椅子を動かしています。基本はコントローラーを前や後ろ、横に倒してフットガードにボールを当てながらプレーします。スピードの調整などもコントローラーで行います。

Q：練習のポイントは何？

A：ひたすら練習することです。それしか上手くなる方法はないと思う

んで。あとは監督やコーチ、先輩からのアドバイスや意見はなるべく聞くようにしています。

Q：チームのメンバーも日本代表を目指している方が多いんですか？

A：ほぼ全員ですね。強いチームだったから、どこもそうじゃないかな。誰もが代表になりたいと思いますし、強いチームじゃなかったとしても、サッカーをしていたら日本代表になることは誰もが希望することだと思います。

Q：サッカーの醍醐味は？

A：試合中に何が起きるか分からないところに面白さがあります。また、全国大会などで遠征することが多くて、今までも静岡や鹿児島に行き、今年の6月には名古屋に行く予定です。プレーだけじゃなく、試合後には観光も楽しめるのがいいですね。

学生であるということ

宮脇さん「早稲田大学人間科学部健康福祉科学科のEスクールに在籍していて、心理学などの勉強をしています。オンデマンドのシステムが確立されているので、好きな時間にオンラインで授業を受けます。僕自身は平日に、基本的にはずっと一人で黙々と勉強を進めています。」

合間や夏季休暇などはゲームくらいはしていますね。ただ、4回生になったので、卒論をどういう内容にしようかなと考えているところですよ。」

Q：自宅一人でひたすら勉強するのは辛いのですか？

A：ずっと家にいるので、そんなにつらくはないです。

Q：大学で友人は？

A：通学してないので、全然です(笑) それに人と関わるのがあまり得意じゃなくて、一人で過ごすのが好きです。

Q：日常生活で気を付けていることは？

A：いつも両親に介助してもらってるんですけど、食べ過ぎて太っちゃうと両親の介助がしんどくなるかなと思って、あまり体重は増やさないように気を付けています。1日に5回以上は僕の身体を持ち上げたりするので、特に父が腰を痛めることがないように(笑)でも食べないと力が出ないので、しっかりと食事はしています。

デュシェンヌ型筋ジストロフィーについて

宮脇さんはデュシェンヌ型筋ジストロフィーの疾病があり、2年ほど前からホームケア土屋のサポートを利用しています。

宮脇さん「デュシェンヌ型筋ジストロフィーは遺伝的な病気で、それが分かっていたのが2歳くらいです。小さい頃はちゃんと歩いていたんですけど、ちよつとずつ筋力が落ちていって、小学校高学年頃

から歩けなくなりました。」

「小さい頃から、いずれば歩けなくなる」というのは聞かされていて、それはもう分かっていたから、そんなに重くは考えていませんでした。逆に、車椅子生活になった方が、両親も僕自身も心配はなくなりました。歩けている頃はすぐに転んでしまったり、筋肉痛もかなりあったりして、その時期の方がしんどかったですね。両親も転ぶ回数が多いと不安になったと思います。」

宮脇さんは両親に交替で車で送迎してもらいながら中学に通い、高校は普通科進学校に入学しました。サッカーに真剣に取り組む一方で、有名大学を目指すクラスメイトと共に勉学に励んできました。

宮脇さん「もちろん中高生時代は色々と思うところはありましたけど、なんだかんだで学校生活は楽しかったです。中学も高校も通ってよかったなというのを、ずっと思っていて。いい人生勉強をしました(笑) それにたくさん勉強するに越したことはないと思うし、最終的に早稲田に入れましたし、中高生の頃の努力は無駄じゃなかったなというのはすごく感じます。」

Q&A

Q：来年、大学をご卒業されると思いますが、卒業後の進路などは？

A：中高生の頃から、大学を卒業したらすぐに働きたいという思いがずっとあって、「大学を卒業してすぐ働くぞ」みたいな意志を持っていたというか。今は4年でちゃんと卒業して就職したいですね。

Q：どんな職種を考えていますか？

A：正直何も考えてなくて、何がしたいかというのも今のところ何もなくて。でもテレワークで働きたいです。Excelのエキスパートの資格は取っていて、今はWordのエキスパートを取ろうと勉強しています。できればホームケア土屋で働いてみたいなのもあって、こういう業務内容なのが気になっています。

Q：サッカーは？

A：サッカーは引き続き、続けていって。そしてアルゼンチンW杯の日本代表になって、できればなんですけど、アルゼンチンに家族みんなで行きたいないう希望はあるんで。



クライアントへのメッセージ

車椅子サッカーをやってみたい方はぜひ始めて欲しいですし、もっとうるんな方に興味を持ってほしいなと思います。

後日、宮脇さんにいただいた動画には、学校の講堂で生徒らの前に車椅子サッカーの実演をする宮脇さんの姿がありました。行動が多くを物語り、その周りにご家族の確かな信頼が感じられる日本スポーツ界のホープ、宮脇太陽さん。土づくりメン

バー一同、そして土屋のクライアント・社員も共に、今後の宮脇さんのご活躍を応援していきます。



クライアントのみなさまへ

広報土づくりへのご意見・ご感想はこちらまで

tcy_shachoshitsu@care-tsuchiya.com

当社介護サービスにおいて虐待や身体拘束が疑われる場合がありますら、下記までご一報ください。

client@care-tsuchiya.com



発行元 株式会社土屋

岡山県井原市井原市192番地2久安セントラルビル2階

